

(様式：臨-15号)

一般社団法人日本ハンドセラピィ学会
認定臨床研修症例報告書合否判定表

20 年 月 日

所属施設： _____

研修者： _____ 様

判定項目	判定基準	審査結果	
		十分	不十分
1. 表題	症例報告に適切な表題であるか.	十分	不十分
2. 匿名性の確保	個人を特定できないように配慮されているか.	十分	不十分
3. はじめに	当該する疾患の説明, 治療における歴史的な変遷及び現在の一般的な治療法について適切に記述されているか.	十分	不十分
4. 目的	報告する症例の目的について明確に記述されているか.	十分	不十分
5. 症例紹介	症例の背景, 受傷機転(発症の経緯), 研修施設受診までの経緯, 理学的診断, 画像診断, 治療方針, 手術内容, セラピィの処方内容などについて要点が網羅され, 適切に記述されているか.	十分	不十分
6. セラピィ前評価	適切なセラピィ前評価が行われ, 記述されているか.	十分	不十分
7. セラピィ目標	治療方針, セラピィ処方内容, セラピィ前評価からの確な計画が立案され, 記述されているか.	十分	不十分
8. セラピィ計画	セラピィの目標に基づき, タイムスケジュールを含めた確な計画が立案され, 記述されているか.	十分	不十分
9. 経過	セラピィ計画にのっとり, 経過について適切に記述されているか. 経過中の変化(手術を含む)に伴いセラピィ内容に追加や変更を加えた場合, その目的が的確に明示され, 記述されているか.	十分	不十分
10. 結果	セラピィを施行後の結果について適切に記述されているか.	十分	不十分
11. 考察	セラピィの経過及び結果からセラピィの効果及びその効果に影響を及ぼした要因, セラピィの妥当性などを分析検討して適切に記述されているか.	十分	不十分
12. まとめ	報告のまとめが適切に記述されているか.	十分	不十分
13. 文献	報告書を作成するにあたり, 必要最低限の引用・参考文献が引用順に簡潔に呈示されているか.	十分	不十分

【症例報告合否判定結果】

合格

不合格

以上、合否判定を通知します。

所属施設： _____

指導者： _____ 印